

令和3年度 札幌青葉鍼灸柔整専門学校 学校関係者評価委員会 議事録

開催日時：令和3年5月21日（金）

開催場所：鍼灸棟2階校長室

出席者：水上 弘祥（北海道鍼灸柔整マッサージ師会 会長）

関 克彦（札幌青葉鍼灸柔整専門学校 卒業生：青葉会（同窓会）会長）

吉田 真人（札幌青葉鍼灸柔整専門学校 卒業生）

渡辺 潤（札幌青葉鍼灸柔整専門学校 卒業生）

加藤 善弘（札幌青葉鍼灸柔整専門学校 卒業生）

岸野 庸平（札幌青葉鍼灸柔整専門学校 統括長代理）

岩倉 淳（札幌青葉鍼灸柔整専門学校 校長）

松永 満（札幌青葉鍼灸柔整専門学校 鍼灸学科長）

松田 心一（札幌青葉鍼灸柔整専門学校 柔道整復学科長）

武藤 耕太（札幌青葉鍼灸柔整専門学校 柔道整復学科教員）＊書記役

川口 直秀（札幌青葉鍼灸柔整専門学校 鍼灸学科教員）＊書記役

◆司会進行：武藤 耕太、川口 直秀

【評価】 A：適切 B：ほぼ適切 C：やや不十分 D：不十分

(1) 教育理念・目的・育成人材像について

【評価】 A（適切）～B（やや適切）

- ・教員の資質向上が必要と感じている。
- ・予防医学は今後の課題として注目されると思う。

(2) 学校運営について

【評価】 A（適切）

適切であるという評価であった。

(3) 教育活動について

【評価】 A（適切）～B（やや適切）

- ・資格は可能な限り取得できた方がいいと思う。
- ・教員の質の向上、教職員の活発な意見交換の結果は何をもって判断しているのか？

(4) 学習成果について

【評価】 B (やや適切) ~C (やや不十分)

- ・就職担当者が現状を把握できていないのではないか？
- ・就職の斡旋はしているのか？話が来たことがない。
- ・今後機能訓練の需要が増えると思う。
- ・基礎的学力の低下が見受けられるため国語等の補完が必要だと思う。
- ・柔整の国試合格率を上げなければいけない。

(5) 学生支援について

【評価】 B (やや適切) ~C (やや不十分)

- ・外回りによる活動を考えてみてはどうか。
- ・課題と解決方向が前年とあまり変わっていない。
- ・退学者が多いことから、より一層の対策が必要ではないか。
- ・学生の相談室の確保が必要ではないか。
- ・進路相談、就職支援は学園の価値にもつながるので体制の強化が急務だと思う。

(6) 教育環境について

【評価】 B (やや適切) ~C (やや不十分)

- ・コロナの影響で厳しいと思う
- ・感染症対策を施したうえで実施してはどうか。
- ・他の学校では実施されている。
- ・外部への臨床実習が実現されると教育内容が充実すると思う。

(7) 学生の募集と受け入れについて

【評価】 B (ほぼ適切)

- ・夜間部が無いという理由で諦めた方がいた。

(8) 財務について

【評価】 A (適切) ~B (やや適切)

(9) 法令等の順守について

【評価】 A (適切) ~B (やや適切)

- ・評価結果をいつ公開するのかはつきり決めた方が良いのではないか。

(10) 社会貢献について

【評価】 B (やや適切)

- ・コロナが落ち着いてから頑張してほしいと思う
- ・コロナ渦でも行える活動を模索してはどうか。